

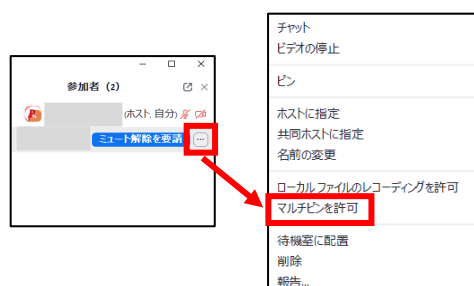
Zoom 機能の使い方【スポットライト編】

Zoom にはビデオを固定することができる 2 つの機能、ピン留めとスポットライトがあります。まずピン留めとスポットライトの違いを紹介します。

ピン留め

自分が見ている Zoom 画面上で**最大 9 名**のビデオを固定することができます。この固定した状況は他の参加者には反映されません。

通常の参加者は、各自の Zoom 画面で 1 つのビデオを固定(ピン留め)することができます。複数画面をピン留めして固定したい場合には、Zoom ミーティングのホストまたは共同ホスト側の操作で「**マルチピンを許可**(複数ピン留め)を許可」してもらう必要があります。



※参加者自身がピン留め(ビデオの固定)を行う方法については、「聴覚障害学生のためのオンライン授業ノウハウ集 ―Zoom 画面設定―」の「基本的な表示方法の使い分け」で説明しています。

スポットライト

参加者が3名以上いる Zoom ミーティングで、Zoom ミーティングのホストまたは共同ホストがスポットライトを設定した場合、ホストまたは共同ホストが設定した画面構成を**スピーカービュー**で閲覧している参加者全員が閲覧できるようになります。

ただし、参加者が使用している機種により、一度に表示できる人数が異なります。また、ギャラリービューで閲覧している参加者にはスポットライトの設定は反映されません。

※ギャラリービューで閲覧している参加者は、スポットライトの設定に関わらず参加者全員の画面を見ることができます。

※Zoom ウェビナーで配信をしている場合には、参加者全員にスポットライト設定が反映されますので、主催者が設定した画面構成で配信ができます。

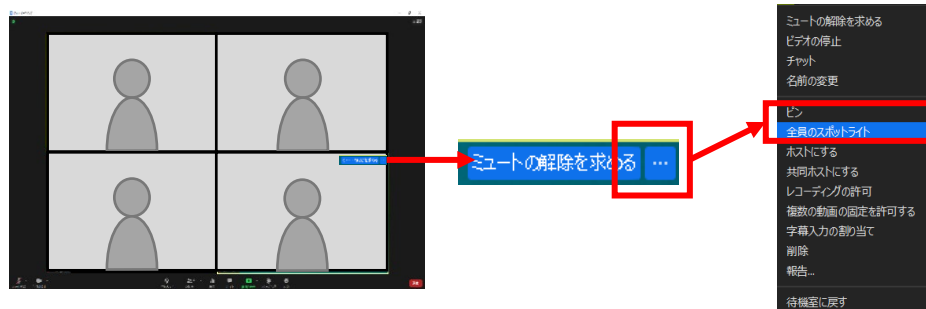
このように、ビデオ固定の機能でも、ピン留めとスポットライトでは、反映される方法が変わります。特にスポットライトは、情報保障を行う際などに手話通訳画面の表示位置を固定する・文字通訳を参加者画面として表示する際などに活用できる機能です。次から設定方法と活用例についてご紹介します。



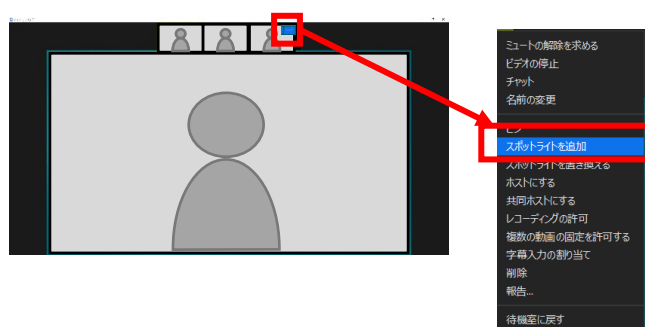
スポットライト設定方法(Zoom ミーティングホスト・共同ホストの操作)

1. 大きく映したい映像の右上にある「…」をクリックします。

2. 「全員のスポットライト」をクリックします。クリックすると参加者全員の画面上に指定した映像が大きく映し出されます。

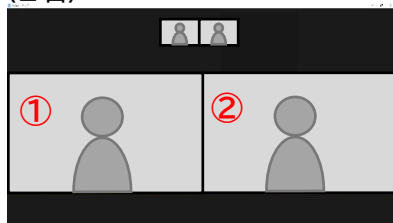


3. 次に大きく映したい映像の右上「…」をクリックし、「スポットライトを追加」をクリックすると追加できます。※ビデオ非表示になっている参加者画面はスポットライトへの追加はできません。

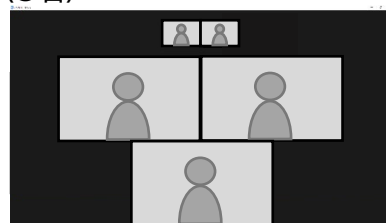


4. 複数画面をスポットライトに追加した場合には、左上→右上→左下→右下の順に画面が並びます。

〈2名〉



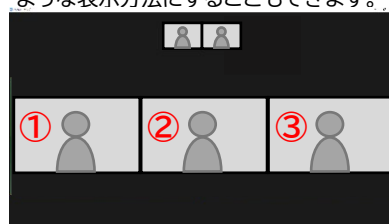
〈3名〉



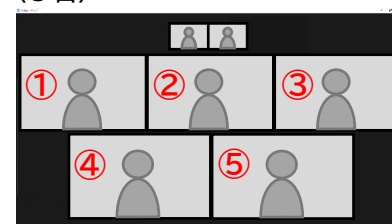
〈4名〉



※Zoom 画面のサイズによって下記のような表示方法にすることもできます。

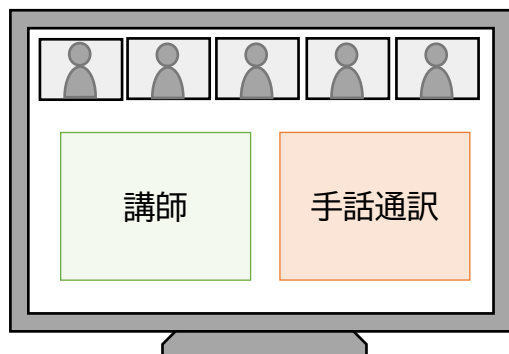


〈5名〉

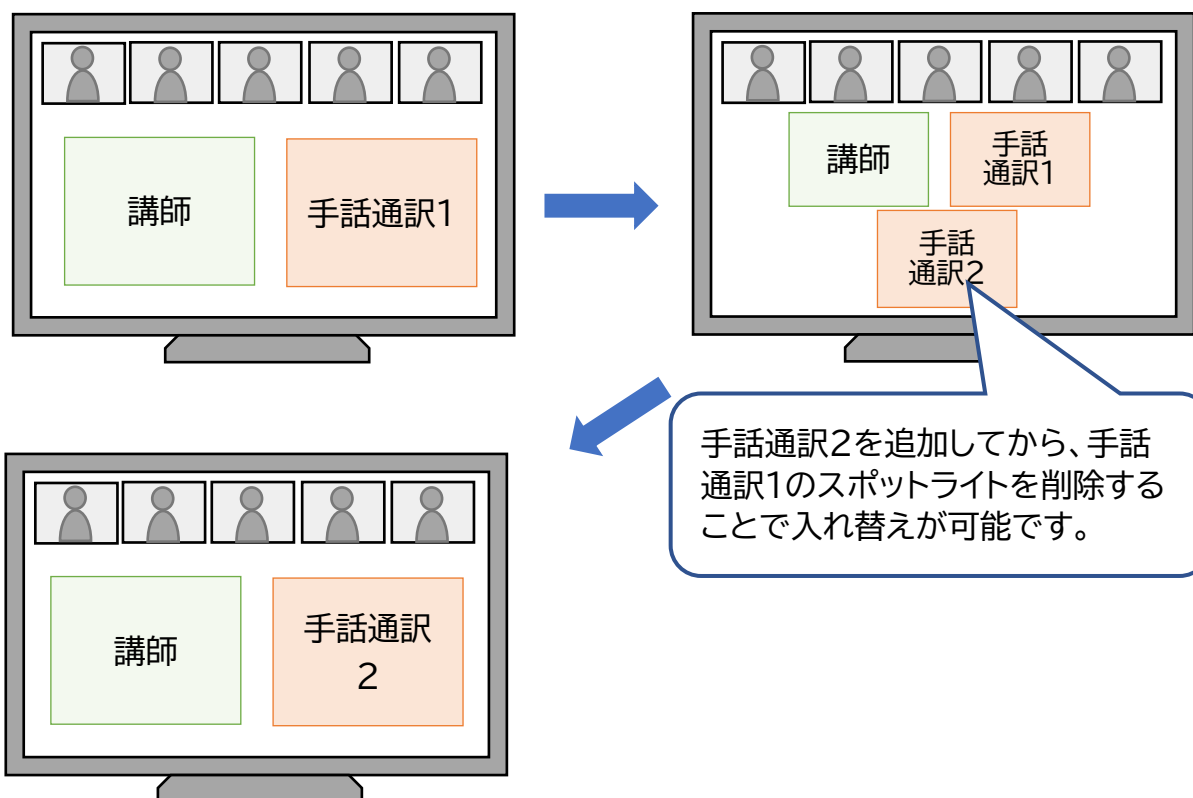


スポットライトの活用例

1. 講師、手話通訳の映像を大きく配信したい



2. 講師、資料、手話通訳の映像を大きくし、手話通訳は途中で交代したい



画面共有中にスポットライト設定した参加者映像を大きく表示する方法

スポットライトを使用している時に画面共有を使用すると、スポットライトを設定した参加者の映像が小さく表示されます。参加者自身が左右表示モードの画面の設定を行うことでスポットライトの映像の大きさを変えることができます。ホストや共同ホストが調整を行っても、参加者には反映されません。

※以下、「[Zoom 画面設定のポイント—画面共有中に話者の映像を大きく表示する方法—](#)」より

Zoom 画面設定のポイント

【画面共有中に話者の映像を大きく表示する方法】

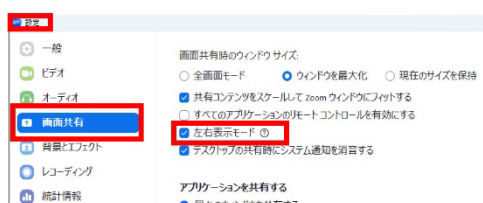
Zoom での会議や授業の際に、画面共有で資料等が表示されると、話者の映像が見づらくなってしまったり、情報保障の映像が見えなくなってしまうことがあります。共有された画面と話者の映像のサイズを調整し、見やすい画面レイアウトを作る方法を紹介します。

1. Windows PC での設定(左右表示モードの活用)

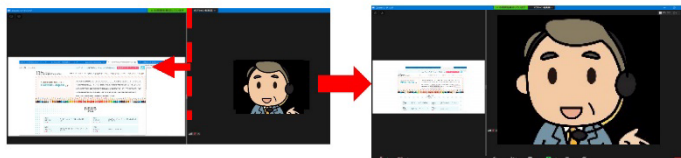
①スピーカービュー(話者 1 人の映像が大きく映る)または主な話者を「ピン」に設定しておきます。(2 名以上を「ピン」にしておくことも可能です。詳しい方法は「Zoom 表示方法」の資料を参照)。

②画面共有されたら、画面上の「オプション表示」でリストを表示し「左右表示モード」にチェックを入れます。「左右表示モード」の設定は、「設定」→「画面共有」→「左右表示モード」にチェックの手順であらかじめ設定しておくこともできます(下図参照)。

※ただし、自分が画面共有をしているとき、デュアルモニター機能を使っているときは、「左右表示モード」は使用できません。



③共有画面と話者画面の間にラインが現れます。ラインにカーソルを合わせてドラッグすると、左右の画面比を自由に変更することができます。





2. タブレットやスマートフォンの場合

パソコン以外の端末(タブレット、スマートフォンなど)の場合は、左右表示モードの機能はありません。その代わりに、iPad 等のタブレットでは、共有画面と話者(スピーカーモード)とのサイズを入れ替えることが可能です。



※画面共有の時にもっと話者を大きくしたい、ギャラリーの様子も見たいという場合は、「デュアルモニター」機能を使うと効果的です。

- 発行日：2024年6月7日
- 執筆者：吉田未来(筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター)
- 編集：日本聴覚障害学生高等教育支援ネットワーク(PEPNet-Japan)事務局
- 発行：筑波技術大学 障害者高等教育研究支援センター

〒305-8520 茨城県つくば市天久保 4-3-15 URL <https://www.pepnet-j.org>

※本事業は、筑波技術大学「聴覚障害学生支援・大学間
コラボレーションスキーム構築事業」の活動の一部です。



国立大学法人
筑波技術大学

PEPNet-Japan